

平成30年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（冬季）入学試験

入学試験問題

⑥ 経 済

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

次の（問題 1）から（問題 5）までの中から 2つを選択し、問題番号を明記した上で解答しなさい。ただし、問題ごとに異なる解答用紙を用いること。

（各問題 100 点、合計 200 点満点）

（問題 1）

改革開放以降の中国経済の高度成長をもたらした要因について、具体的に説明しなさい。その上で、近年の成長減速（いわゆる「新常态」）がなぜ起こっているのか、高度成長要因の変化という点から論じなさい。

（問題 2）

明治日本の産業化は綿紡績業と鉄道業が中心であったといわれる。大阪紡績株式会社と日本鉄道株式会社の設立および経営について具体的に説明しなさい。その上で、両会社の成功を受けて両産業がどのように発展していったのか、そのメカニズムについて論じなさい。

（問題 3）

トランプ米国大統領は北米自由貿易協定（NAFTA）の見直し交渉を進めようとしている。同大統領の主張する NAFTA がもたらしている米国の損失とはどのようなものか説明しなさい。その上で、果たしてその主張は経済学的に見て正しいものなのか、論じなさい。

（問題 4）

フォードシステムと対比しつつトヨタ生産方式（リーン生産方式）について具体的に説明しなさい。その上で、1980 年代および 2000 年代の日本の自動車産業の国際競争力について自由に論じなさい。

（問題 5）

1950 年代の日本の鉄鋼業について、当時の日本の経済状況についても言及しつつ説明しなさい。ただし解答にあたっては次の語句を必ず使用すること。

傾斜生産方式、炭価、鉄鋼業無用論、西山弥太郎、朝鮮戦争